

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2019年8月26日作成 第1版

研究課題名	妊娠中の子宮内膜症性嚢胞の特徴
研究の対象	2000年1月から2018年12月末までに当院で分娩となった、妊娠中に子宮内膜症性嚢胞を合併した女性の約150例を対象とします。
研究目的 ・方法	<p>妊娠に合併した子宮内膜症性嚢胞の多くは治療を行わず経過観察することが可能です。しかし一部は嚢胞の破裂や膿瘍を形成し急性に腹痛が増悪したり、増大したり癌化したりするために、緊急に手術が必要となることがあります。しかし妊娠が内膜症性嚢胞に与える影響、特に嚢胞の大きさの変化を検討した報告は多くはなく、また合併症を起こす頻度も報告により様々で、どのような内膜症性嚢胞が合併症を引き起こしやすいかは分かっていません。</p> <p>そこで本研究では、待機的に管理した内膜症性嚢胞の妊娠中のサイズの変化および、合併症により緊急手術を行った症例を検討し、妊娠中の子宮内膜症性嚢胞の特徴を明らかにすることを目的とします。</p>
研究期間	西暦 2020年 1月 24日 ~ 西暦 2021年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>当院の周産期登録データベースおよび診療録に基づいて、後方視的に調査します。</p> <p>妊娠前の情報：年齢、経妊経産、不妊治療の有無、卵巢腫瘍の妊娠前の指摘の有無</p> <p>妊娠中～分娩時の情報：内膜症性嚢胞のサイズの変化、妊娠中の卵巢腫瘍に関する合併症（破裂、感染、分娩時障害、悪性化、捻転）、卵巢腫瘍の超音波画像の変化（脱落膜化）、分娩方法、分娩時週数、早産や前置胎盤や妊娠高血圧症候群の有無、出生体重</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、本研究は匿名化されたデータの提供を受けて行います。当院では個人を特定することができませんので、ご連絡を頂いた場合でも特定の方のデータを除くことはできないことをご了承下さい。</p>	
<p>問合せ先：</p> <p>〒232-0024（所在地）横浜市南区浦舟町 4-57 （所属機関）横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター （研究責任者）高見 美緒 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5784</p>	